

副業からフリーランス、独立起業を目指す人へ  
知っておきたい確定申告・税金の基礎

行列FP 林健太郎

By 林FP事務所

# 副業→独立起業

## 知っておきたい 税金基礎

### 1. 雑所得と事業所得、給与所得の違い

- 給与所得者を想定しています

### 2. 雑所得と事業所得のどちらを選ぶべきか？

- これから副業起業する人が知るべきメリットとデメリット

※個別の税務・税金の詳細についてはお近くの税務署または税理士など税の専門家にお問い合わせください。

# 雑所得と事業所得の違い

## ■ 雑所得とは

- 税法に定められている以下の所得: 利子、配当、不動産、給与、事業、退職、山林、譲渡、一時のいずれにも該当しない所得のこと
- アフィリエイト収入、原稿料、仮想通貨の売買損益など
- 経費が認められる (収入 - 経費 = 所得)

## ■ 事業所得とは

- (雇用されずに) 自らの事業で得た所得。反復継続的に得る収入のこと。
- フリーランス、自営業、独立起業者は基本的に 事業所得
- 経費が認められる

## ■ ちなみに給与所得とは

- 雇用されて得る所得。パートも雇用されている。
- 経費は 給与所得控除に含まれる
- ただし 給与所得控除は近年減らされる傾向 → 優遇廃止

# 雑所得と事業所得の税金（所得税）の取り扱い

## 雑所得

アフィリエイト、  
原稿料等

給与所得者の  
副業  
(無申告可)  
住民税は申告  
必要

現金主義可

関連書類の保管 (5年間)

確定申告に経費等を記した  
帳簿の提出必要

20万円

300万円

1000万円

## 事業所得

個人事業主  
(フリーランス、  
個人開業、独立  
起業等)

青色申告特別控除

55万円

E-Taxを使えば65万円

※住民税は別途

## 法人...

# 雑所得と事業所得のどちらを選ぶべきか？

## ■ 雑所得のメリットとデメリット

- (メリ) 20万円未満なら確定申告不要
- (デメ) 損益通算や損失繰越ができない (一部例外的に可能)
- (結論) 所得が低い (20万円未満) うち雑所得でOK

## ■ 事業所得のメリットとデメリット

- (メリ) 赤字のときの損益通算が可能。損失繰越もできる。
- (メリ) 所得が増えれば青色申告特別控除のメリットが大きい
- (デメ) 所得が増える (290万円以上) と個人事業税 (3~5%) がかかってくるので注意
- (結論) きちんと事業運営していきたいなら、事業所得にすべき

# まとめ

## 1. 雑所得と事業所得、給与所得の違い

- 雑所得は9つの分類「以外」
- 控除額など、税金の取り扱いが違う

## 2. 雑所得と事業所得のどちらを選ぶべきか？

- 雑所得は簡便だが、あくまで一時的なもの
- 事業所得は面倒だが、所得が多い場合に特典が多い

基本の違いを正しく理解し  
副業・起業時代を上手に生きていこう

無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所